

第 1 回木材保存技術奨励賞

「CCA 加圧注入作業液の成分管理に関する研究」

園部宝積（山陽木材防腐株式会社）

昭和 47 年 3 月鳥取大学大学院農学部農芸化学科を卒業し、同年 4 月～51 年 9 月林六株式会社を経て、昭和 51 年 12 月に山陽木材防腐株式会社に入社し、現在に至る。

業績概要

CCA 処理液を木材に加圧注入すると、木材には先ずクロム及びヒ素が吸収され、同成分の吸収は遅れる傾向があります。そのため、作業液の組成は当初のそれよりも銅化合物が多くなります。そこで、作業液の成分管理に関する研究を進めました。

作業液組成及び木材への吸収量における成分比は、作業液と被処理材の接触時間、後排气操作、液温等によって異なることを明らかにしました。更に、この結果を活用して作業液の成分管理の方策を明示しました。

今後の取り組み

CCA 加圧注入作業液の成分管理に関する基礎的知見を得ることが出来ましたので、それを実地に応用して行きたいと思えます。

主な成果報告

- 1) 園部 宝積, 石田 英生, 遠藤 醇: CCA 作業液及び吸収量の成分比変動原因とその対策, 第 1 回日本木材保存協会年次大会研究発表要旨集, 1-4 (1985).
- 2) 園部 宝積, 白石 徹治, 石田 英生, 遠藤 醇: CCA 作業液組成及び吸収量の各成分比の変動原因の究明とその防止対策, 11 巻 1 号, 2-7 (1985).

（「木材保存」誌及び日本木材保存協会年次大会要旨集に受賞の記事が未掲載だったため、平成 2 年度理事会議事録にある木材保存技術奨励賞受賞候補者推薦書から、事務局が 2018 年 6 月に作成）